



共同募金
受益発行

い は ら き
身障福祉



題字 佐川清一

編 集 一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会 水戸市千波町 1918 セキショウウェルビーイング福祉会館（県総合福祉会館）
 発行者 会長 荻 津 和 良 TEL 029 (241) 8295 FAX 029 (243) 7490

ごあいさつ

「発足五十年を迎えて」



一般社団法人茨城県
身体障害者福祉団体連合会
会長 荻津 和良

一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会は、昭和48年4月、県域で活動する3つの代表的な身体障害者福祉団体を母体とする連合組織として、当初は任意団体で発足しました。

それから50年。令和5年度、このように大きな節目となる年を迎えることができましたことを、大変うれしく感じております。

これもひとえに、ここに至るまで当会の運営に携わつてこられた先達の方々や、当会を支えてくださいました多くの関係者の皆さまのご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当時をひも解きますと、茨城県内には身体障害者福祉団体の代表的な自主的組織として、昭和8年4月設立の茨城県盲人協会、昭和25年2月設立の茨城県ろうあ団体連合会、昭和42年5月設立の茨城県身体障害者福祉協議会の、三つ

の団体が、それぞれに障害に応じた活動を進めておられました。

一方、身体障害者福祉をより向上させていくためには、強固な基盤の上に立ち、3つの組織を統合するような組織が長年望まれておりました。

そのような中、本県では初めてとなる茨城国体と、そのすぐ後に行われる「全国身体障害者スポーツ大会」が昭和49年に開催されることが決定され、この大会の成功を期して、関係者の協議が進められ、当会の結成につながったところであります。

設立当初は、連合会の役割である3団体や関係機関との連絡調整のほか、身体障害者の結婚相談や、福祉相談等に始まり、その後、昭和56年からは福祉バス事業を開始し、現在では、身体障害者相談員連絡協議会や、障害者社会参加推進センターの運営を任されるなど、事業を拡充してまいりました。

近年の、障害者福祉の大きな流れとしては、「私たち抜きに私たちの事を決めないで」と謳った、国連の障害者権利条約に始まり、我が国では、ユニバーサルデザイン2020行動計画の推進や、東京オリンピック・パラリンピックの開催などを背景にして、国や地方で障害者福祉の様々な取り組みも展開されてきております。

障害及び障害のある人々に対する世間の理解や関心は確実に高

令和5年度役員

まっけると感じられますし、障害者差別解消法の改正に伴う合理的配慮の進展も、大いに期待するところであります。

当会といたしましては、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指して、今後もしっかりと活動してまいる所存であります。障害福祉関係者の皆さまには、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

監事	監事	監事	専務理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	副会長	会長
染谷秀樹	菊池善信	米川正典	鈴木聡幸	小林聖司	渡部孝之	豊島清美	鈴木隆雄	葛野やす子	木川健太	藤枝文江	軍司有通	中島秀男	松崎昌樹	高野重彦	高木昇	吉沢馨	坂場篤視	荻津和良

令和5年年度 茨城県身体障害者 福祉団体連合会 定時総会を開催

令和5年6月13日(火)、セキショウウェルビーイング福祉会館(県総合福祉会館)において、茨城県身体障害者福祉団体連合会の令和5年度定時総会が開催されました。

第1号議案 令和4年度事業報告について
第2号議案 令和4年度収支決算について
 原案どおり承認されました。

第3号議案 理事・監事の選任について
 任期満了に伴う理事及び監事の選任について、原案どおり承認されました。

報告第1号 公益目的支出計画実施報告について
 異議なく可決承認されました。



定時総会

令和5年度臨時理事会を開催

定時総会で選任された新理事の中から、会長(代表理事)1名、副会長2名、専務理事(業務執行理事)1名が選任されました。

令和5年度 事業計画

Ⅰ 基本方針

本会としては、コロナ禍において、基本的な感染対策をとりながら、ウィズコロナの取り組みを進めていくこととし、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会(以下「日身連」という。)や茨城県等との連携を通じて国県等の動向に関する情報収集に努めるとともに、会員団体及び日身連加盟団体等との情報交換や意見交換を密に行い、共生社会を目指すための施策が一層充実するよう国県等に働きかけていく。

また、会員団体や身体障害者相談員、障害者福祉関係者等に対して、共生社会実現に関する研修会の開催や国等の障害者福祉制度等に係る情報提供を行っていくほか、より多くの障害者の社会参加を促進するため障害者福祉バス事業を円滑かつ適切に行っていくなど、厳しい財政状況の中において効率的な会運営に取り組んでいくことにより、身体障害者の生活の安定に寄与するよう努めていく。

Ⅱ 事業計画

1. 障害者福祉バス運営事業

より多くの障害者の社会参加を促進するため、安全運転管理に努めるとともに、円滑かつ適切な運営を行うよう事業者の指導を行う。

2. 身体障害者福祉活動推進事業

(1) 福祉活動推進事業

障害者に対する生活、医療、就労及び年金などの各種情報の収集・提供を行うとともに、関係機関等との連携のもと、障害者の自立と社会参加に向けた問題の解決に努める。

(2) 福祉FAX設置・インターネットの活用事業

FAXやインターネットを通じて、障害者の日常生活や就労などに関する情報や国の制度改正に関する情報などの収集・提供を行うほか、オンライン会議やeメールなどを活用して県等関係機関や団体等との連絡や情報交換を行う。

(3) 広報事業

インターネットのホームページを活用してお知らせ等の情報発信を行う。

また、機関紙『いはらき身障福祉』を年2回発行し、会員団体を

はじめ市町村や関係機関・団体に広く配布し、障害者福祉制度等の動向や本会の活動状況等に関する広報に努め、障害者施策の周知・啓発を図る。(機関紙の主たる財源：共同募金配分金)

3. 身体障害者福祉団体運営費補助事業

本会加盟三団体に対し各団体の独自事業の推進に資するため、運営費(事業費)補助金を交付する。
1団体 457,000円補助
なお、「第53回全国ろうあ女性集会」(令和5年10月開催予定)について、会員主催を支援するため、補助金を交付する。

茨城県聴覚障害者協会

30,000円補助

4. 障害者社会参加推進センター運営事業

障害者の自立と社会参加への意識の高揚を図るため、次の事業を行う。

① 障害者社会参加推進協議会
② 障害者福祉の集い

・開催日：令和5年10月5日(木)
・場所：トヨペットスマイルホール大洗(大洗町民会館)
・内容：講演「みんなで楽しむ手話漫談」

③ 障害者福祉団体リーダー研修会



ナイスハート美術展審査会

・開催日：令和6年2月16日(金)
・場所：セキショウウェルビーイング福祉会館
・内容：未定
④ 障害者週間啓発事業
・障害者週間
12月3日(日)～9日(土)
・事業内容 茨城県総合福祉会館
出入口への立看板の掲出・懸垂幕「やさしさを行動に」の掲揚
・県主催啓発事業への参加
ナイスハートふれあいフェスティバル2023(障害者の文化祭)に出展される身体障害者の優秀作品(絵画の部、書道の部、写真の部、陶芸・工芸の部の各部門一点)に対して連合会長賞を授与し、文化祭参加意識の高揚を図る。

5. 関係障害者福祉団体等連携事業

(1) 障害者福祉に関する情報の収集と全国の障害者福祉団体との連携を図るため、日身連の開催する大会等や関東甲信越静ブロック協議会主催の会議に参加する。

① 日身体障害者福祉大会
第68回日身連身体障害者福祉大会わかやま大会
・開催日 6月16日(金)～30日(金)
YouTube録画配信

② 日身連関東甲信越静ブロック協議会
10都県5政令指定都市
◆ 団体会長会議(6月)
… 山梨県障害者福祉協会
◆ 代表者会議(11月)
… 千葉県身体障害者福祉協会
◆ 障害者相談員研修会
… 群馬県身体障害者福祉団体連合会

・開催日 9月27日(水) 13時30分
・方法 YouTubeライブ配信
(2) 全国障害者スポーツ大会等の激励等
鹿児島県で開催される全国障害者スポーツ大会に参加する本県選手団に対する激励や応援等を行う。
また、茨城県障害者スポーツ大会に出席し、参加選手への激励と応援等を行う。

6. 相談員活動強化事業

身体障害者相談員の資質の向上と相談員相互の一層の連携を図るため、茨城県身体障害者相談員連絡協議会と共催で、中央研修会、地区研修会を開催し、地域での相談員活動の活性化を図る。

① 身体障害者相談員中央研修会

・開催日 7月28日(金)
・場所 セキショウウェルビーイング福祉会館

② 身体障害者相談員地区研修会

◆ 県北・県央・鹿行地区
・開催日 9月1日(金)

・場所 セキショウウェルビーイング福祉会館4階大研修室

◆ 県南・県西地区

・開催日 9月20日(水)
・場所 茨城県県西生涯学習センター

7. 要望活動

身体障害者福祉施策の充実を図るため、会員団体の意向を踏まえ、国に対しては日身連を通じ、また、県に対しては県域の福祉団体で構成する茨城県社会福祉予算対策委員会を通じ、要望活動を実施する。

令和5年度収支予算

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	240	240	0
受取補助金等			
県補助金	18,826	18,751	75
受取委託金			
県委託金	4,490	4,490	0
受取配分金			
受取配分金	200	200	0
受取寄付金			
受取寄付金	250	280	△ 30
割戻金			
割戻金	400	400	0
雑収入			
受取利息等	1	1	0
経常収益計	24,407	24,362	45
経常費用			
(事業費)			
給料手当	3,037	3,037	0
報酬	3,100	3,078	22
諸手当	2,211	2,204	7
共済費	1,415	1,399	16
旅費交通費	250	250	0
備品費	9	9	0
需用費	2,591	2,032	559
役務費	678	458	220
使用料及び賃借料	979	979	0
報償費	803	803	0
公課費	75	75	0
業務委託費	4,783	5,058	△ 275
補助金	1,402	1,372	30
減価償却費	0	0	0
雑費	120	120	0
事業費計	21,453	20,874	579
(管理費)			
会議費	250	250	0
給料手当	1,302	1,302	0
報酬	345	342	3
諸手当	646	645	1
共済費	382	378	4
旅費交通費	113	114	△ 1
備品費	0	0	0
需用費	443	442	1
役務費	185	185	0
公課費	66	50	16
使用料及び賃借料	155	155	0
分担金	160	160	0
減価償却費	0	0	0
雑費	100	100	0
管理費計	4,147	4,123	24
経常費用計	25,600	24,997	603
当期経常増減額	△ 1,193	△ 635	
当期一般正味財産増減額	△ 1,193	△ 635	

障害者福祉バスを ご利用ください



障害者福祉バスは、各種講演会・研修会・講習会・社会見学・機能回復訓練・スポーツ・レクリエーション等に幅広くご利用いただけます。ご利用の際は、委託業者にお問い合わせ願います。
(委託業者)

〒310-0813

水戸市浜田町415番地3

有限会社acc研究所

TEL 029-228-3333

FAX 029-222-2537

- ・申込み…6ヶ月前から（先着順）
- ・乗車定員…利用する障害者10名以上
- ・運行時間…午前8時30分～午後6時

※運行時間とは福祉バスが定置場（acc研究所）を出庫してから定置場に戻るまでの時間です。

・運行範囲…県内、隣接県（福島・栃木・千葉・埼玉県）、群馬県、東京都

・料金…原則無料

・運行日…年末年始（12月28日～1月4日）を除き、曜日に関係なく運行

※宿泊利用も可

利用にあたっての おことわり

福祉バスは1台で運行しており、代わりのバスはありません。そのため、災害、天候不順、バスの緊急整備、乗務員の不測の事態（病気等）により、運行ができない場合があります。



茨城県の障害福祉 施策について

茨城県福祉部障害福祉課

近年の状況としまして、障害の重度化・多様化や高齢化が進んでおり、障害のある方々が地域で安心して暮らすためには、障害児者の生活を地域全体で支えるための仕組みづくりが喫緊の課題と考えております。

こうした中、「ノーマライゼーション」と「完全参加」を基本理念とする「第2期新しいばらき障害者プラン」に基づき、以下の取組を行っております。

●障害者スポーツの推進

スポーツ・レクリエーション活動につきましましては、皆様のご協力のもと5月13日より障害者スポーツ大会を開催しております。今年度は、個人、団体競技に加え、昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施することができなかったレクリエーション競技についても、開催を予定しております。

●文化芸術活動の充実

12月の障害者週間に合わせて実施している「ナイスハートふれあいフェスティバル」につきましては、4年ぶりにステージでの発表会形式による

音楽、ダンスの発表などに加え、障害者芸術文化活動に関する交流会等を開催するなど、取組を充実させてまいりたいと考えております。

●障害者の工賃向上

障害のある方の自立を促進するため、障害の程度が比較的重い方に対して就労の機会を提供する就労継続支援B型事業所の工賃の向上を図るため、「茨城県共同受発注センター」を中心に、製作品の販路拡大や農福連携などの取組を推進してまいります。

県ではこれらの取組を通じて、障害者の自立や社会参加を一層促進してまいります。

また、令和5年度末で「第2期いばらき障害者プラン」の計画期間が終了することに伴い、現計画の達成状況等や、関係者の皆様のご意見を伺いながら、新たな障害者プランの策定作業を進めてまいりますので、（二社）茨城県身体障害者福祉団体連合会の会員の皆様方におかれましては、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



『第68回日本身体障害者福祉大会 わかやま大会』開催 YouTube 録画配信



新型コロナウイルス感染症の影響等に鑑み、6月16日(金)～22日(木)にかけてYouTube録画配信により開催されました。

開会宣言、挨拶に続いて、講師に野村茂樹氏(弁護士/日本で初めての視覚障害者の司法試験合格者)を迎え、「障害者差別解消法を考える」をテーマに講演がありました。

議事では「大会宣言・大会決議」が採択され、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画が報告されました。

次回第69回大会は令和6年5月21日に石川県で開催される予定です。
〈大会宣言〉

コロナ禍を越え、全国の仲間と

もに、第68回日本身体障害者福祉大会を開催することができた。

日本身体障害者団体連合会は、障害者権利条約を踏まえ、障害当事者参画のもと、障害者施策の促進と障害特性に配慮した社会環境の整備が図られるよう、加盟団体と強く連携し、全力で活動してきた。

また、障害者が孤独・孤立に陥らないためにも障害及び障害者に対する国民的理解を地域に根づかせるべく、私たちが主体となって取り組んでいかなければならない。

そして、障害のある私たち一人ひとりが発信者となり、社会生活において、困っていること、改善解消を必要とすることを伝え、相互理解を深めていかなければならない。

さらに、国連障害者権利委員会の総括所見に対する国の今後の対応について注視していくとともに、その実現にむけ障害者関係団体と連携して取り組んでいく。

日本身体障害者団体連合会に集結する私たちは、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現を目指して、一致団結し、行動することを誓い、ここに宣言する。

〈大会決議〉

一、日身連及び加盟団体連携のもと、

組織体制の強化を図ろう

一、障害当事者参画のもと、障害関係施策を促進させよう

一、国連の総括所見をふまえた地域共生社会の実現に取り組もう

一、改正障害者差別解消法の理解啓発の促進を図ろう

一、身体障害者相談員の活動強化を図ろう

坂場篤視氏が 日身連会長表彰 を受賞

長年にわたり障害者福祉に寄与し顕著な功績のあつた者への日身連会長表彰として52名の紹介があり、茨城県からは当会副会長の坂場篤視氏が受賞しました。

「令和5年度春季日身連 関東甲信越静岡ブロック 協議会団体長会議」開催

関ブロ協議会会長に
荻津会長再任

「令和5年度春季日身連関東甲信越静岡ブロック協議会団体長会議」が、6

月29日(木)に甲府市の「ホテル談露館」で開催されました。

会議では、役員の改選が行われ、関ブロ協議会会長に当会荻津会長が選任されました。また、協議会規約の改正、令和4年度収支決算及び令和5年度収支予算(案)が協議され承認されました。

各団体提案では、「電動キックボードに係るルールを徹底するための制度等の導入」について日身連に要望していくことが話し合われました。

そのほか、「障害のある人の8050問題・親亡き後の問題」、「共生社会の実現に向けた一般向けの情報発信」について情報交換を行いました。また、日身連から活動状況や国等の動向などについての報告がありました。



関ブロ協議会会長として挨拶する荻津会長

『令和5年度第1回 茨城県障害者社会参 加推進協議会』の開催

6月27日（火）、セキショウウェルビーイング福祉会館において、令和5年度第1回茨城県障害者社会参加推進協議会が開催されました。会議では、令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について協議が行われ、事業の開催曜日や会場などについて協議しました。また、「障害者福祉団体リーダー研修会」に関して研修テーマなどの意見が出されました。

会員団体の動き

一般社団法人茨城県身体 障害者福祉協議会

令和5年度事業計画

新役員の紹

5月24日、セキショウウェルビーイング福祉会館にて通常総会が開催されました。

高木会長あいさつ後、退任した市町村団体の会長（二名）に表彰状と

記念品の贈呈が行われました。
・染谷新一様（前境町身体障害者福祉協議会会長）
来賓あいさつ・紹介の後、議事に入り、令和4年度事業報告、令和4年度収支計算書及び監査報告、欠員役員の選任等が審議され、上程された議案はすべて承認可決されました。

令和5年度役員

会長	高木昇	（常陸太田市）
副会長	高野重彦	（龍ヶ崎市）
副会長	松崎昌樹	（潮来市）
副会長	尾上孝俊	（常総市）
副会長	藤田賢司	（大子町）
副会長	中島秀男	（石岡市）
理事	荻津和良	（茨城町）
理事	小松崎進	（笠間市）
理事	米川正典	（鉾田市）
理事	齊藤茂雄	（取手市）
理事	大野幸一	（美浦村）
理事	服部佳子	（下妻市）
理事	今井輝勝	（古河市）
理事	村上千克	（那珂市）
理事	石津初美	（龍ヶ崎市）
理事	平賀泰章	（鹿嶋市）
監事	以上、理事15名、監事2名	

活動の基本方針

障害もある人もない人も共に地域の一員として生きることができるノー

マライゼーション社会の実現のために、県・市町村・各団体等と連携を強化しながら、次の事業を重点に取り組んでまいります。

1 就労促進と総合相談事業の実施
ハローワークや県など関係機関との連携を強化し、就労相談活動等が円滑に進められるよう努めてまいります。

2 結婚相談の促進

未婚の身体障害者が良き配偶者にめぐり会えるよう、出会いの場の設定や新規登録の促進に努めてまいります。

3 公益法人の円滑な運営

当協議会は、平成25年度から一般社団法人に移行しており、引き続き適正な法人運営に努めて参ります。

4 ノーマライゼーションの推進

関係機関との協力や支援を受けながら、その目的に沿った事業活動を展開してまいります。

主な行事の紹介

今年度の主な行事を紹介いたします。

① 地区就労支援相談員研修会

・6月23日（金）

・セキショウ・ウェルビーイング福祉会館

・セキショウ・ウェルビーイング福祉会館

② ゆうあいカラオケ歌謡発表会

・7月2日（日）

・会場は①に同じ

③ スマートフォン操作研修会

・7月19日（水）

・会場は①に同じ

④ ゆうあい卓球大会

・9月10日（日）

・龍ヶ崎市「たつのこアリーナ」

⑤ 山・銀輪の集い

・10月18日（水）・19日（木）

・大子広域公園（大子町）

⑤ 結婚相談事業日曜交流会

・11月5日（日）

・水戸市内

⑦ 若人の集い

・11月18日（土）

・水戸市総合運動公園体育館

⑧ 役員研修会

・令和6年1月18日（木）

・いこいの村酒沼



通常総会で挨拶する高木会長

社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 令和5年度事業計画

運営方針

法人制度改革の趣旨に対応し、法人としての自覚と責任のもと、事業運営の透明性向上や財務規律の強化に努め、自らが主体的意識をもって運営していくよう取り組んでまいります。

また、社会福祉事業の主たる担い手として、組織運営及び各種事業の推進に積極的に関わり、障害者にとって安心安全な社会の実現と視覚障害者の自立と社会参加を支援してまいります。

1 より一層公益的な取り組みを図り、組織運営の適正化や財務基盤の充実・強化を図ります。

2 補装具・日常生活用具給付事業や同行援護事業など、市町村における視覚障害者福祉施策の充実と格差解消に向けた働きかけを進めます。

3 積極的な各種事業を展開し、支部会員との緊密な連携強化を図ります。

4 日視連やその他の障害者福祉団体等との連携・相互交流を図り、生活しやすい地域社会を目指します。

5 協会ホームページ等の広報媒体を最大限に活用し、視覚障害者に対する情報提供をより一層充実します。

6 中途失明者緊急生活訓練事業並びに関係機関との連携強化により、視覚障害者の雇用確保に向けた支援の充実を図ってまいります。

7 視覚障害者とその家族、視覚障害者を支援等する立場にある方からの福祉サービスの利用・問題・悩み等に関する相談に応じ、課題解決に向け必要な助言を行うため「ふれあいサロン」を運営してまいります。

8 2019年6月に施行された読書バリアフリー法の趣旨を踏まえ、視覚障害者の読書環境の整備に努めると共に、公共図書館との一層の連携強化を図ってまいります。

9 第四期（令和3年度～令和7年度）指定管理により受託運営する「茨城県立視覚障害者福祉センター・点字図書館」の管理については、施設の効率的・効果的な事業運営に努めるとともに、指

定管理事業を通じて視覚障害者の支援を充実してまいります。

令和5年度事業

1. 組織・団体活動に関する事業

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 法人制度改革への対応
- ③ 支部長会議の開催
- ④ 就労（あはき業）関係
- ⑤ ふれあいサロン（当事者相談）の実施
- ⑥ 福祉機器展の開催

2. 指定管理事業

- ① 点字図書等の閲覧・貸出
- ② 点訳・朗読奉仕員養成事業
- ③ 即時情報ネットワーク事業
- ④ 点字広報等発行事業
- ⑤ 視覚障害者生活相談事業
- ⑥ 中途失明者緊急生活訓練事業
- ⑦ 生活訓練等事業

3. 地域生活支援に関連する事業

- ① 県・市町村広報等の発行
- ② 点字・音声版選挙公報及び点字候補者名簿の作成
- ③ 会議、案内資料等の作成
- ④ 研修会・講習会等支援

4. 同行援護従業者養成研修事業

5. 社会参加促進に関する事業

- ① 関係団体との相互交流等
- ② スポーツ・芸術・文化活動
- ③ 陳情、要望活動

6. 視覚障害者支援用具斡旋事業

令和5年度役員

理事長	軍司 有通
業務執行理事	坂場 篤視
業務執行理事	石橋 秀治
理事	葛野 やす子
理事	森住 純一
理事	稲田 真
理事	小林 茂敏
理事	大山 祐介
理事	川口 里江
理事	小島 泰陵
監事	佐藤 正義
監事	氏家 義三



「創立 90 周年記念 第 20 回茨城県視覚障害者福祉大会」 式典



「同大会」コンサート

一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 令和5年度事業計画

基本方針案

1. 会員の拡大

新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから今年で4年目になりますが、2022年度の会員数は、目標数にはまだまだ達成しておりません。会員数は現在217名でコロナ前の状態にも回復しておりません。今後、会員入会は何のためかを会員皆で改めて考え直し、非会員に理解してもらえようもと呼びかけをして行きましょう。地区代表会議を

開いて会員の意見を聞きながら、体制の見直しも必要と思われます。

2. SDGs(持続可能な開発目標)によるろうあ運動を目指して

2015年に国連で採択されたSDGsは、世界で起こる様々な問題に対して2030年までに達成すべき目標を定め、問題解決のために取り組むことを求めている。「教育、成長と雇用、不平等の是正、まちづくり、実施手段とパートナーシップ」等の目標において差別を撤廃することも含まれています。「誰一人取り残さない」という理念を掲げるSDGsと連動し、より多くの国民の皆さまと連帯して差別や偏見をなくしていく運動が求められていますと、全日本ろうあ連盟より「新しい時代のろうあ運動を目指して」として表現されました。

社会的障壁をなくすためには、社会と個人を変えるような活動が必須で、共に活動する仲間＝会員が増えるように引き続き努めてまいります。会員の皆さんと一緒に、すべてのろう者・聴覚障害者たちが安心して過ごすことのできる社会を作っていく必要があります。

3. 運営安定

2022年度、本会としては初となる地名手話のDVDを販売いたしました。3年ぶりのカレンダーやク

リアファイルの新色なども、ご好評いただき売れ行きも好調です。今後の安定的な運営に繋がるよう、グッズの販売に尽力します。コロナ感染のため、売り場に行かない人が増えておりますので、茨聴協のホームページにグッズなどをアップして販売できるようにPRしてまいります。

4. 旧優生保護法による強制不妊手術への対応

依然、情報を把握できておりません。今年こそは進展できるよう進めてまいります。優生保護法の問題を全面的に解決して、一日も早く差別ない社会が実現するよう努めます。会員の皆さん、情報があれば協力お願いします。

5. 市町村手話条例

条例制定は県内44市町村のうち3市だけで、これからも積極的に交渉しなければなりません。ホームページに手話動画を載せている他県の市町村が増えております。ろう者に手話が必要であることを社会の皆さんに理解して貰うためには、手話の普及が必要で、茨聴協としては市町村協会の条例制定に向けた取り組みをサポートしてまいります。

6. 情報・コミュニケーション条例

条例制定は県内で笠間市だけです。44市町村全てで制定するよう視野を広げて活動をしなければなりません。

せん。情報・コミュニケーション条例は手話言語条例より、まだまだ認知度が低いので、もつと学習会を開催してまいります。

7. ろう老人ホーム設立を目指す

将来、ろう老人ホームを設立するための具体的な活動を始めました。ろう老人ホームの管理運営のためには、茨城県聴覚障害者協会とは別に茨城県聴覚障害者福祉会を設けたいと思います。まず「茨城県聴覚障害者福祉会とろう老人ホーム設立を目指す委員会」を設けました。今後、ろう老人ホームで働いている介護士などから老人ホームに必要な条件や介護知識を学びます。

8. 第53回全国ろうあ女性集会開催

体育大会、ろうあ者大会に続き全国規模の大会である、第53回全国ろうあ女性集会が、今年10月20～22日に水戸市で開催されます。昨年から実行委員会を立ち上げて、入念に準備を進めています。主管団体として集会が成功するように、理事だけでなく会員の皆さんも団結して頑張りましょう。

9. 業務の整理

一昨年より、事務局に聴者も含め、4人で業務の整理を行っており、会議の資料は出来るだけペーパーレス化しています。対面式の会議は、昨年より少しずつ増えました。全日

本ろうあ連盟では、大会は集会型で開催されましたが、委員会の会議は相変わらずオンラインで開催されています。全日本ろうあ連盟、関東ろう連盟、行政との連絡を密にしていし、洩れなく情報提供ができるように業務してまいります。

事業計画（一）内は担当

- 1 敬老会（福祉委員会、女性部）
- 2 手話奉仕員養成講座講師研修会（手話委員会）
- 3 茨聴協特製カレンダー製作（出版委員会）
- 4 ろう教育フォーラム2023（教育委員会）
- 5 ろう労働フォーラム（労働委員会）
- 6 防災に関する講演会（防災委員会）
- 7 ろう福祉フォーラム（福祉委員会）
- 8 機関紙発行事業（広報委員会）

令和5年度役員

会長	吉沢 馨
副会長兼防災委員	鈴木 隆雄
副会長兼福祉委員長	今井 利幸
事務局長	根本 貴幸
会計部長	西野 一昭
組織委員長	小林 聖司
手話委員長	高木 茂晴
企画委員長	増子 勝也



防災に関する講演会

企画委員	大山 四郎
福祉委員	上田 和彦
防災委員長	青木 俊彦
労働委員長	皆川 雅代
教育委員長	小田部 憲子
教育委員兼防災委員	宮田 茂樹
広報委員長	染谷 秀樹
出版委員長兼広報委員	菊地 友紀子
体育部長	渡部 孝之
高齢部長	浅野 弘
女性部長兼事務局	豊島 清美
青年部長兼労働委員	安大 地
理事	会沢 隆典
監事	黒澤 弘明



同大会 記念講演



第20回茨城県聴覚障害者大会式典

編集後記

本年度第1回目の広報紙をお届けいたします。

今夏も猛暑や豪雨など異常気象を感じるような日が多くなっています。一方、新型コロナウイルス感染症は法的な位置づけが「5類」に移行され、人々の動きもずいぶん活発になってきているようです。当会でも障害者福祉の集いを4年ぶりに開催するなど事業を再開していますので、熱中症の予防や感染対策を上手にとりながら、皆さんどうぞご参加ください。

この広報紙は、「共同募金配分金」を受けて発行しています。

